

第17回「市民と市長のふれあいトーク」の内容（要旨）

と き 平成27年5月1日（金）
テーマ 行ってみたい・住んでみたいまちづくり
参加者 竹内裕治さん（西今町）
内藤秀徳さん（野介代）
高須悠嵩さん（小田中）
太田龍さん（国分寺）

飲食店やDJ、ダンスなど、さまざまな活動をしている皆さんと市長が、まちづくりについて意見交換を行いました



自転車を浸透させたい

参加者 津山には、近くへ移動する時でも車を使う人が多いので、自転車の活用を提案したいです。特に、まちなかは城下町を基盤に生活に必要な店などがそろい、自転車で移動するのにちょうどいい範囲です。城東と城西も自転車で回れる一つの範囲と考え、まちが一体になれば、いい観光ルートになると思っています。

さらに、自転車のレンタル店や自転車を置くスペースを整備し、お寺巡りやグルメを巻き込んだルートをマップにすれば、名所をたくさんの人に見てもらえると思います。

行ってみたい・住んでみたいまちに

参加者 津山のまちには、おもしろい店やスポット、歴史的に価値があるものが眠っています。その魅力を生かして、津山のまちを行ってみたい・住んでみたいまちにすることができるのではないかと思います。津山に住んでいる人が、楽しさを市外に求めなくても、このまちがおもしろいと思えるようなまちにしたいです。

お城やお寺で、プロジェクションマッピング（映像を投影する技術）を使ったイベントなどを行ったり、ダンスやBMX（競技用自転車） スケートボードなどができるストリートパークを作ったりして、市内外の人が興味を持つようなきっかけを作ることも必要です。開催する人も楽しめて、それに刺激を受けた人が参加したいと思うイベントが増えれば、津山が楽しいまちだと思う人も増えてくると思います。

市長 今回の皆さんの提案は、元気な津山をつくっていくために貴重なものだと感じました。また、津山の歴史や文化など、資源や地域の宝を生かした取り組みや新たな創業などを支援する取り組みが必要です。自転車の活用も津山の道路事情を見ると、いい考えだと思います。

このことを市民の皆さんへ積極的に発信できるよう応援していきたいです。そして、各分野でがんばっている人たちと協力して良いまちにしたいですね。